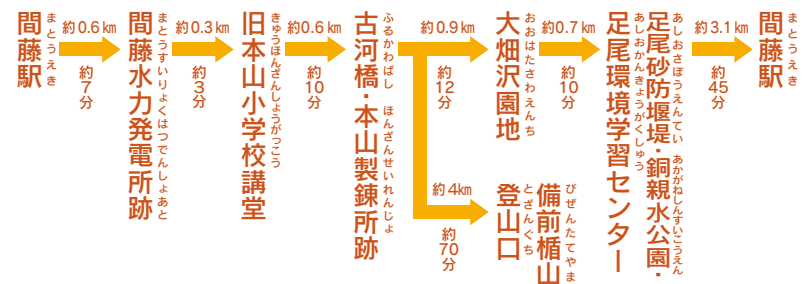


わたりせふるまよ散策マップ

まよ

～間藤編～

散策モデルコース：半日コース 約6.2km



松木溪谷

松木溪谷
切り立った岩壁が天を突く特異な荒廃地をなしている。



足尾砂防堰堤
荒廃した山々からの土砂流出を防ぐ目的で、昭和30年に完成。ダムの本体には、足尾焼によるカモシカの壁画が設置されている。



銅親水公園

銅親水公園
足尾環境学習センター

大畑沢園地

本山製錬所跡

龍蔵寺



天台宗龍蔵寺境内にある旧松木村無縁塔

トイレ 自販機

首都圏自然歩道 (赤銅のみち)

登山口

頂上まで 約1時間

備前楯山 1,272m



旧本山小学校講堂
明治16年開校、平成17年に112年の歴史に幕を閉じた。この講堂は、昭和15年完成。



間藤駅
運がよければ、カモシカが見られる時もある。待合室の隣に陶芸教室がある。

古河橋

旧本山小学校

渡良瀬川
わたらせ
渓谷鐵道

間藤水力発電所跡

間藤駅

至日光

至足尾駅

大畑沢から松木溪谷をのぞむ



わたらせふるまの 散策マップ

間藤編

見どころ紹介



ふるかわばし 古河橋

明治23年に架橋以来当時のまま現存する極めて貴重な道路用鉄橋。平成26年1月27日に国重要文化財に指定

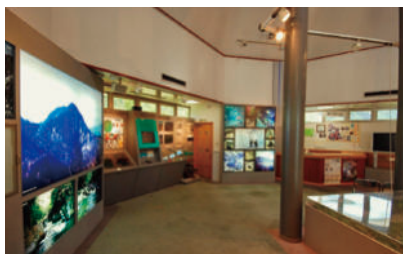


ほんざんせいれんじょあと 本山製錬所跡

足尾銅山から産出した銅を製錬した工場。昭和29年にフィンランド・オートクンプ社の自熔製錬法を日本で最初に導入した。この方法は粉状の銅精鉱を熱風乾燥して炉頂から落とし、そのまま熔解するもの。炉が運転すると鉱石の発熱だけで燃料が不要になった。また、排煙の亜硫酸ガスは濃硫酸として生産され、煙害も完全に除去することができ、改良を加えながら処理能力を増強した。銅山の歴史と共に歩んだこの製錬所は、常に日本の最先端の製錬法をつくり出しては、国内はもとより世界中から注目を集めた。平成26年3月18日国史跡に指定

あしおかんきょうがくしゅう 足尾環境学習センター

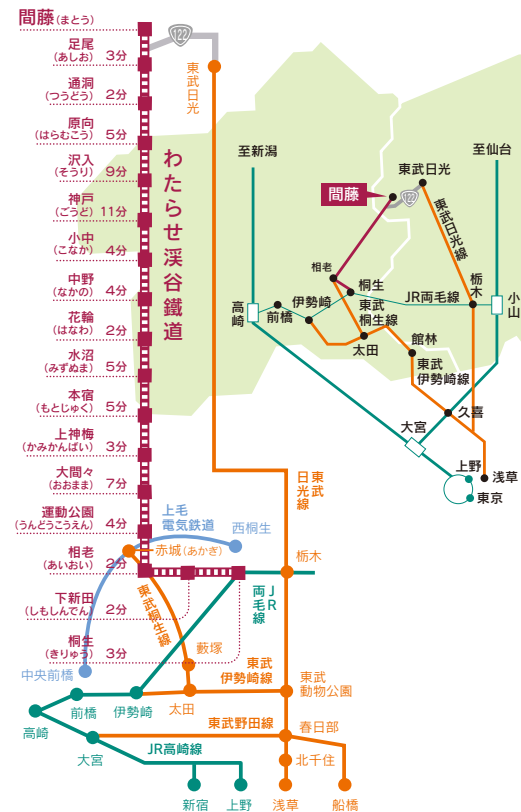
平成12年、銅（あかがね）親水公園内に完成した環境について学ぶことのできる施設。施設内には2つの展示室と研修室があり、写真や年表だけでなく映像を通して足尾銅山の歴史を紹介すると同時に、自然の大切さと環境問題を学べ「銅山のまち」として栄えた足尾を分かりやすく紹介している。



- ・開館日時：4月1日から11月30日まで
午前9時30分～午後4時30分まで（入館は午後4時まで）
- ・入館料：大人200円（15名以上の団体は180円）、
高校生以下100円（15名以上の団体は90円）、未就学児無料
- 連絡先：足尾環境学習センター 0288-93-2525
【指定管理者 足尾に緑を育てる会 0288-93-2180】

まとうすいりょくはつでんしょあと 間藤水力発電所跡

明治23年に造られた水力発電所。堅坑捲揚機・電気ポンプ・電気機関車などの動力として利用された。鉱山では日本最初のもので、残存する煉瓦造りの基礎と直径1mの鉄製導水管の一部が当時の名残りをとどめている。



観光案内など問い合わせ先

- 日光市観光経済部足尾観光課 0288-93-3116
- 日光市観光協会足尾案内所 0288-93-3467
- わたらせ渓谷鐵道株式会社 0277-73-2110
- わたらせ渓谷鐵道連絡協議会（桐生行政県税事務所内）0277-54-4482

おすすめ情報

備前楯山（標高1,272m）への登山コース

古河橋から登山口まで約4km徒歩70分
登山口から頂上までは約1.5km徒歩60分
足尾銅山の銅のほとんどがこの山から産出された。
5月上旬のツツジ、11月上旬の紅葉の時期が特におすすめ。（写真は頂上から見た男体山方面の眺望）

